

# 気候政策の鍵を握る科学的知見

08.27.2010

安井 至

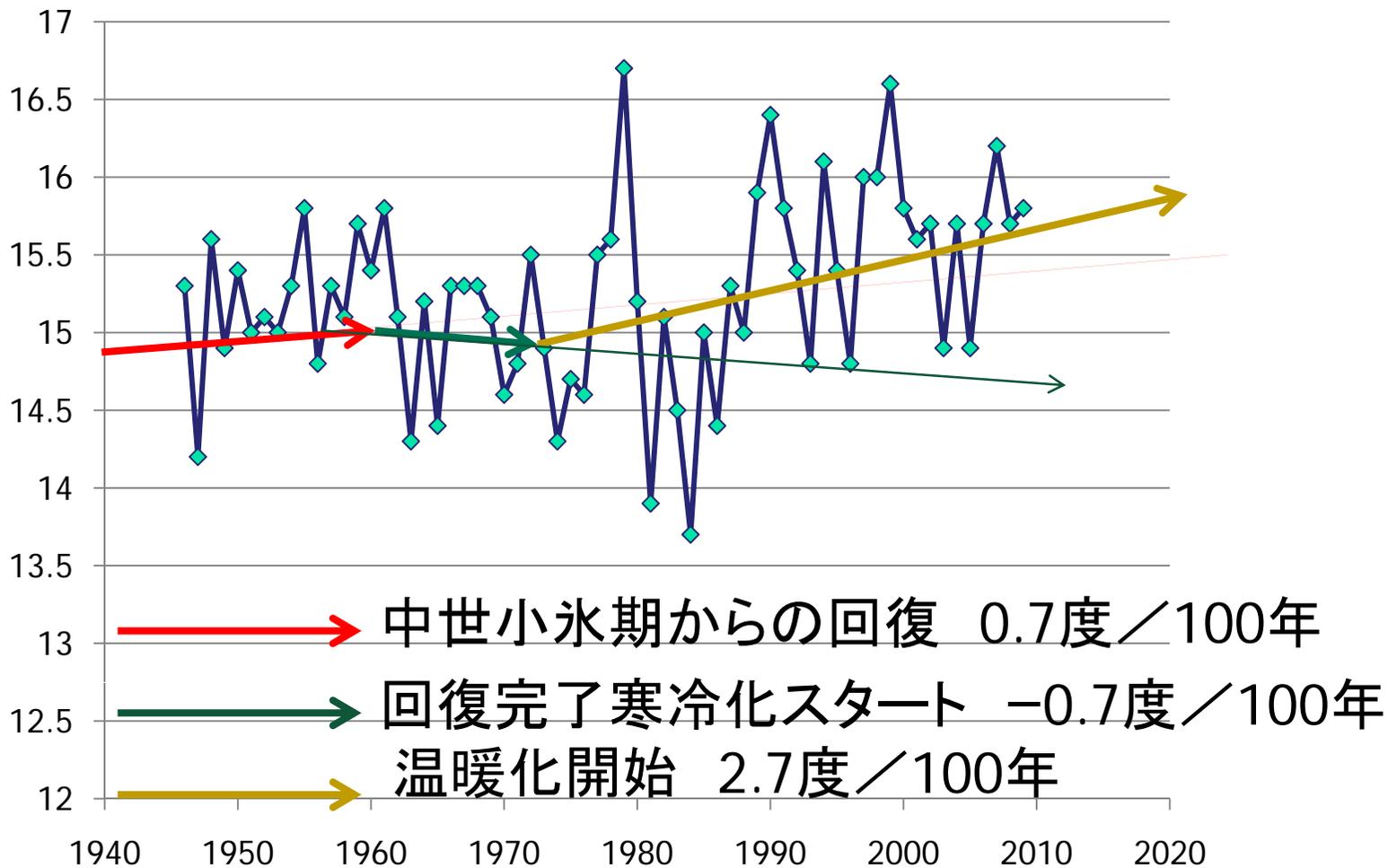
(独)製品評価技術基盤機構

東京大学名誉教授

国際連合大学名誉副学長

<http://www.yasuienv.net/>

広瀬隆著「二酸化炭素温暖化説の崩壊」に習い、  
 銚子の気温の変化を用いて「作る」地球温暖化Theory



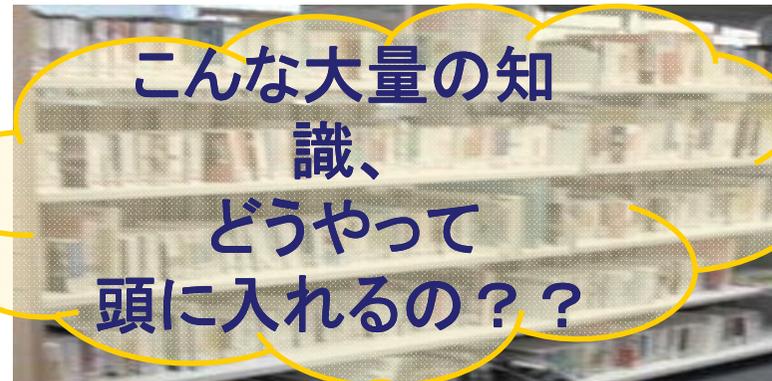
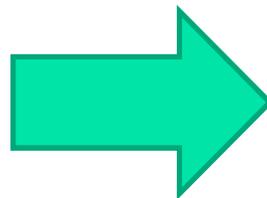
# 知識を十分に説明したか？

- 広瀬 隆「二酸化炭素温暖化説の崩壊」
  - 著者は、もとエンジニア。専門は化学か？
  - 全く理系の知識が無い訳ではない。
- p118 地球の温度を計算するために使われる物理化学(熱力学)の数式は、、、
- p118 複雑きわまりない大気圏の計算を行うまでの水準に、人類は永遠に到達できない。それを認識することこそ、科学する者。
- p121 水蒸気の温室効果：水滴となって固化するときに、熱が赤外線となって放出される

科学的知識  
の今昔 = “知雲”



1452年生まれ



こんな大量の知識、  
どうやって  
頭に入れるの??



2010年生まれ

圧縮  
して  
入れる

現代のこどもは、ダ・ビンチの頭脳にあった科学的知識の1000倍以上を学ぶ必要がある。知識は圧縮されて知雲 = 教養へ。

## クライメートゲート事件の意味 気候変動研究者用チェックリスト ＝人類のために研究をしているか？

- 自分の研究費確保のためではないか？
- 気象・気候研究の推進のためではないか？
  
- 「環境研究は人々を人質にする！」という自覚は？
- 自分と仲間の利益のために国民を脅迫するのか？
  
- 問題の本質の提示と同時に、必ず解決の道筋を示す！

# 本当に必要な科学的知見は ＝信頼される知見

- 今後、2025～30年ぐらいまで、国際法的な強制力を伴う規制の枠組みはできないのでは？
- 2030年以降、気候変動防止と経済活動維持の細い稜線を歩く事態に陥る。
- 2023年程度までに、詳細な観測とシミュレーションに基づく、**信頼される科学的知見**が出せれば、世界的な対策は、まだ、間に合う。